



## MOT 専攻のミッション (使命)

いま、国内外の経済・社会環境の変化やグローバル化の進展によって、厳しい経営を強いられている企業が多くあります。

しかしその流れを理解すれば、販路や商機は世界中に広がっており、多くのチャンスを掴むことができます。

市場、政策、顧客嗜好、産業構造などの変化に柔軟かつ迅速に対応し、これまでの技術価値や地域資源を「顧客価値」へと転換し、利益創出を行う「改革」が求められているのです。

さらに、世界的なビジネスの場で高い利益性を上げるためには、イノベーションを定常的に生み出すような文化・体制を組織内に構築しなければなりません。

加えて、企業や地域社会を支える企業経営者や従業員らのグローバル能力の形成と、グローバル展開に備えたインフラ整備の推進も欠かせません。これらの育成と構築を通じ、

日本企業の発展を支え、地域・地方の経済・社会の活性化と繁栄に貢献すること、それが本専攻のミッションです。

山形大学大学院 理工学研究科教授  
博士(工学)  
ものづくり技術経営学(MOT)専攻長  
兒玉 直樹



## 様々なサポート制度

### 開講時間

社会人向けに、大学の講義を下記のように開講しています。  
・土曜日(9:45~19:50)  
・日曜日(不定期)  
講義を受講することができなかった学生は補講やレポートなど柔軟なサポートを受けることができます。

### 長期履修制度

仕事をしながら通っている等の理由がある場合は、本研究科の標準修業年限(2年)を超えて一定の期間(最長4年)にわたり計画的に履修し、課程修了することができる制度です。この制度の利用や授業料の納付方法等の詳細については、山形大学工学部学務課教育支援担当(0238-26-3015)に照会して下さい。

### ノンディグリープログラムとの連携

ノンディグリープログラム®の修了生は科目等履修生と同等に、MOT専攻で開講している科目と互換して単位を認定することができます。後にMOT専攻に入学した際、既履修科目として認定され、科目受講の負担を軽減できます。

※ノンディグリープログラム:  
修士の学位は取得できないが、技術及び知識を習得できるプログラム。

## 学生データ

### ●男女比

男性	27人
女性	5人

### ●居住地

米沢市内	19人
山形県内	8人
山形県外	5人

### ●履修制度

長期履修制度利用	5人
----------	----

### ●学生構成比

一般学生	8人
外国人選抜	1人
社会人	16人
留学生	7人

## 学 費

### ●平成25年度入学の場合

●検定料	30,000円
●入学科	282,000円
●授業料	535,800円(予定額)

博士前期(修士)課程修了後、MOT 専攻の博士後期課程に進学しさらに研究を深めることができます。優秀な修士課程の学生には博士課程への「飛び級」を認め博士の学位を最短3年で取得することが可能です。

## お問い合わせ

### 山形大学大学院理工学研究科 MOT専攻事務局

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16  
TEL.0238-26-3621  
E-mail motjim@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

MOT専攻とは  
ものづくり技術経営学(Management of Technology)専攻の略称です。



山形大学大学院理工学研究科

# MOT 専攻

# 価値創成コース



# MOT専攻は地域の活性化と グローバル展開に資する ことのできる人材を育成します

地域

×

人材

## 価値創成コースを新設します

これまでのものづくりコース、グローバル戦略コース、食品創製コースを再編し、「価値創成コース」を新設します。受講生のテーマや学習課題に応じ、グローバル系科目、イノベーション系科目、地域活性／観光系科目から科目履修ができます。これによってMOT専攻は新設する「価値創成コース」と留学生コースである「とうほくMITRAI(みらい)コース」の2コース制となります。



## 公開講座科目を積極的に展開します

一般の社会人や市民を対象にした「公開講座」を実施します。ノンディグリー科目(単位を付与しないセミナー)として開講し、受講後に一定の成績を取得した方に修了証を発行します。この修了証を受けてMOT専攻に入学した場合には、単位読替制度を適用し、既に専攻開設科目の単位を修得したものとみなします。これにより、入学機会のフレックス化を図ります。



## 社会人・留学生・日本人学生の ハイブリット型教育を実践します

平成24年度、文部科学省の「国費留学生の優先配置特別プログラム(ホリビア多民族国)」と「留学生交流拠点整備事業」に採択されました。従来から行っていた社会人・留学生・日本人学生による混合型講義をさらに強化することで、国際性を身に付け、多文化共生に対して理解を深め、実践的なコミュニケーション能力を育成します。社会人学生には、言語の習得や国際文化理解を深めてもらうことも期待しています。また、地域社会関係資源の国際化や事業化を複眼的に検討できるような場を提供します。



# 工学×観光で 新しい価値の創成、地域活性化の 可能性を無限大に

工学

×

観光

### 特徴

#### 1 科学的な思考力、 問題解決能力を養成します

客観的に課題を把握・分析し、問題解決をはかる力を養成します。勘や経験だけに頼ることなく、科学的な思考力を養い、地域活性化・観光を新しい切り口で捉え直すことで事業の再生、発展、そして地域イノベーションにつなげます。

### 特徴

#### 2 ネットワーク力で 先端の観光学を探求できます

MOT専攻をノードに地域活性・観光のネットワークが広がっています。山形大学の他学部はもちろん、他大学の研究者、地域観光産業のリーディングカンパニー、鉄道事業者、エージェンなどとのネットワークを構築しています。この多様なネットワークを活かして地域に根ざしつつ最先端の観光学を探求することができます。

### 特徴

#### 3 価値創成に必要な 基礎知識を体系的に学びます

地域活性、観光系科目だけではなく、経営の基礎を学ぶ共通科目、国際ビジネスに必要なグローバル系科目、技術マネジメントを学ぶイノベーション系科目など学際的な知識を体系的に習得することで新しい価値をうみだす力を引き出します。

### メリット 1

公開講座等で最先端の  
幅広い知識を習得できます

MOT専攻では多数の公開講座、セミナー等を実施しています。ものづくり、地域活性・観光、グローバルなど、様々な分野の最先端の情報や知識を得ることができます。

### メリット 2

様々な業種の社会人学生、  
多国籍の留学生と  
交流することができます

MOT専攻にはものづくり企業やサービス産業の若手経営者や後継者、金融機関職員や行政職員、教員など様々な立場、業種の社会人学生がいます。異業種交流の場として、また留学生との国際交流の場としても魅力があります。

### メリット 3

修了後のサポートも  
充実しています

MOT専攻の修了生で組織する特定非営利法人Y-MOTネットワークは修了後も公開講座等のインフォメーション提供や在校生と修了生のつなぎ役として様々な場面で充実したサポートを行っています。

## MOT専攻の開講科目体系

### 〈必修科目〉

技術経営学概論A	2単位
技術経営学概論B	2単位
研究論文特別演習	6単位

### 〈共通科目〉

アカウンティング	2単位	価値・事業創造特論	2単位
コーポレート・ファイナンス	1単位	マーケティング・戦略論I	1単位
マーケティング・セールスマネジメント	1単位	マーケティング・戦略論II	1単位
知的財産マネジメント	2単位	組織・人的資源管理特論	1単位

### 〈グローバル系科目〉

国際取引マネジメント論	2単位
グローバル戦略マネジメント	2単位
研究開発実践演習(専攻共通科目)	4単位
技術マネジメント特論A(国際経営系)	2単位
技術マネジメント特論E(技術経営系)	1単位
技術マネジメント特論F(技術経営系)	1単位

### 〈イノベーション系科目〉

有機電子材料合成特論(他専攻科目)	2単位
技術マネジメント特論B(設計系)	2単位
技術マネジメント特論C(品質系)	2単位
技術マネジメント特論G(技術経営系)	2単位

### 新開講 〈地域活性・観光系科目〉

観光経営工学特論	2単位
地域資源国際事業化特論A	1単位
地域資源国際事業化特論B	1単位
地域資源開発特論	2単位
地域活性特論	2単位
食品創製特論	2単位
技術マネジメント特論D(情報系)	2単位

### 〈とうほくMITRAIコース(留学生特別科目)〉

●ビジネス日本語①[2単位] ●ビジネス日本語②[2単位] ●ビジネス日本語③[2単位] ●ビジネス日本語④[2単位]  
●キャリア開発[2単位] ●インターンシップ[2単位] ●日本ビジネス[2単位] ●日本語集中基礎(補講科目)[0単位]



### 履修例 A さん

#### 自治体職員

- 新しい地域特産物を作りたい
- 地域の食を活かした活性化を図りたい

### 修士論文 プロセス工学を用いた特産物の開発と 地域ブランド化に関する研究

基礎	応用	発展
観光経営工学特論	地域活性特論	技術マネジメント特論D(情報系)
価値・事業創造特論	食品創製特論	技術マネジメント特論C(品質系)
技術経営学概論A、B	地域資源国際事業化特論A、B	マーケティング・セールスマネジメント
	地域資源開発特論	研究論文特別演習
	マーケティング・戦略論II	



### 履修例 B さん

#### 旅館経営者

- アジアからのインバウンドを増やしたい
- 経営やマーケティングの基礎を学びたい

### 修士論文 観光立国時代における地域産業の 収益構造分析と国際化に関する研究

基礎	応用	発展
観光経営工学特論	地域活性特論	技術マネジメント特論D(情報系)
価値・事業創造特論	地域資源国際事業化特論A、B	グローバル戦略マネジメント
技術経営学概論A、B	地域資源開発特論	マーケティング・セールスマネジメント
アカウンティング	マーケティング・戦略論II	研究論文特別演習
	組織・人的資源管理特論	